

## 福山市陸上競技協会主催大会実施上の 感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）及び日本陸上競技連盟が作成した「新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。

今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により逐次見直すことがあり得ることに御留意ください。

### 1 競技会実施に当たっての基本的考え方について

競技会の実施に当たっては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」（文部科学省）及び令和 2 年 5 月 22 日教育長通知「県立学校における学校再開について」を踏まえ、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、「スポーツイベント再開に向けた感染予防ガイドライン」（公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）及び「日本陸上競技連盟新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」（公益財団法人日本陸上競技連盟）等を参考に、次の競技会実施に当たっての基本的な考え方に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることとする。

#### 【競技会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の 3 つの基本
  - 身体的距離の確保
  - マスクの着用
  - 手洗いの徹底
- (3) 3 つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場所）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

### 2 競技会実施時の感染防止策について

#### (1) 感染源を絶つ

- 主催者は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等は、競技会に参加させないことを徹底する。
- 主催者は、各チームの選手及び引率者等の 2 週間分の体調を記録した体調記録表（別紙 1）の記録を求め、健康管理を徹底する。
- 主催者は、競技会当日受付時等に、チーム同行者体調記録表（別紙 2）の提出を求め、選手や引率者等の体調を確認するとともに、競技会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- 主催者は、選手や引率者・来場者に対し行動記録表（別紙 3）の記録を促し、感染症が発生した場合は速やかに終息に向けての協力を自治体及び国に対しておこなうこととする。
- 主催者は、チーム同行者体調記録表（別紙 2）に記載された者以外の来場者に対し、来場者体調記録表（別紙 4）に、氏名・年齢・住所・連絡先（電話番号）・検温した体温・来場前 2 週間におけるア：平熱を越える発熱、イ：咳や喉の痛みなど風邪の症状、ウ：だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、エ：味覚や嗅覚の異常、オ：過去 14 日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航歴及び当該在住者との濃厚接触の有無の確認と、来場後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告することを確認する。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに、生徒の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。

- 主催者及び引率者等は、競技会中に、選手等の体調不良を確認した場合、救護係や 医療機関及び保護者等と連携し、当該選手の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

## (2) 感染防止の3つの基本

### ア 身体的距離の確保

- 主催者は、引率者会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。
- 主催者、指導者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。

### イ マスクの着用

- 主催者は、選手、引率者等及び大会関係者に、マスク等を準備させ、競技会中は、競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。ただし、活動中や気候の状況等より、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう生徒に指導する。
- マスク等を着用して運動を行う場合には、同じ運動であっても、体へ高い負荷がかかり、低酸素症や熱中症などのリスクが高まるため、主催者や引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共用させない。

### ウ 手洗い等の徹底

- 主催者は、選手、引率者等及び大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を設置するとともに、場内アナウンス等で、選手や引率者等に手洗いを促す。
- 主催者は手洗い場等に「手洗いは30秒以上」の掲示をし、手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を準備する。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに、流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

## (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場所）の回避

- 原則、無観客試合とする。なお、会場への入場は、出場選手として登録された選手、引率者及び大会関係者のみとし、出場選手として登録されていない部員やマネージャーの入場については、利用する会場や施設の状況、各専門部の加盟選手数等を考慮し判断する。
- 主催者は、競技会会場を複数設けるなどし、生徒、引率者等の会場への移動が短縮できるよう工夫する。
- チームでまとまって会場へ移動する場合、引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう運転手と連携し定期的に換気をしたり、1台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。
- 主催者は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室内に選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう目印テープを貼付するとともに、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。
- 主催者は、屋内で実施する競技において、会場内で人が密集しないよう、一度に会場に入れる人数や学校数等を制限するなどの工夫をする。
- 主催者は、屋内で実施する競技において、1時間に2～3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。その際、試合会場の窓等の開閉が困難な場合は、利用する施設と連携し、換気施設を適切に運転する。この場合においても、1時間に2～3回程度会場の入口等を開け換気を行うなどの工夫をする。
- 主催者及び引率者等は、記録会会場のベンチや食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせ、対面をさけ、会話は控えるよう指導する。

## (4) 安全な活動環境等の確保

- 競技会に関わる全ての者（大会役員、審判、指導者、部員、選手）は、競技会が開始される2週間

前からの行動を、行動履歴書（別紙3）に記録する。

- 主催者は、参加チームに対し大会の主旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。顧問・指導者等は、大会に参加する選手に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、競技会申込期日までに定期健康診断の実施が行なわれていない生徒・選手については、各自で健康診断を受診するなど保護者の責任のもと健康上問題がないことを確認したうえで参加させる。
- 社会体育施設を利用して大会を実施する場合は、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）に則り運営する施設を選定し、感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。また、学校施設を利用して大会を実施する場合は、令和2年5月22日付け教育長通知「県・市・私立学校における学校再開について」等に基づき、感染拡大予防対策について、事前に、会場となる学校の教職員と打合せを行う。
- 主催者及び引率者等は、別紙「競技会実施時の感染防止対策チェックリスト」を参考に、各部活動の実態や各競技特性に応じた、適切な感染防止策を講じる。

### 3 各競技特性に応じた感染防止策

※ 大会に関係する全ての人に周知徹底してください。

## 別 紙 一 覧

<input type="checkbox"/>	【別紙1】体調記録表
<input type="checkbox"/>	【別紙2】チーム同行者体調記録表
<input type="checkbox"/>	【別紙3】行動履歴書
<input type="checkbox"/>	【別紙4】来場者体調記録表



NO.

令和 年 月 日

## 学校・チーム同行者体調記録表

学校・チーム名 ( ) 引率者氏名 ( )

- ① 平熱を超える発熱（概ね37度5分以上） ② 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状  
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難） ④ 味覚や嗅覚の異常

NO	氏名	本日の 体温 (°C)	体調記録表（2週間の間）において、異常がなければ各項目に✓をすること。				備考
			①	②	③	④	
引率者		.					
引率者		.					
1		.					
2		.					
3		.					
4		.					
5		.					
6		.					
7		.					
8		.					
9		.					
10		.					
11		.					
12		.					
13		.					
14		.					
15		.					
16		.					
17		.					
18		.					
19		.					
20		.					
21		.					
22		.					
23		.					
24		.					
25		.					

※枠が不足する場合は、用紙を追加してください。

## 行動履歴書

所属( )氏名( )

No	月日	曜日	行先	滞在期間	接触者
1	月 日				
2	月 日				
3	月 日				
4	月 日				
5	月 日				
6	月 日				
7	月 日				
8	月 日				
9	月 日				
10	月 日				
11	月 日				
12	月 日				
13	月 日				
14	月 日				

- ※ 罹患者が発生した場合、本人が発症2日前から現時点での行動歴を明らかにすることが重要です。試合に関わる全ての者は試合開催2週間前から記録をしておくこと。
- ※ 大会終了後、1ヶ月程度は各自で保管しておくこと。

## 来場者体調記録表

所属 ( ) 氏名 ( )

### 1 記入事項

※ 個人情報取得については、大会終了後に参加者から新型コロナウイルス感染の発症があったと報告を受けた場合に必要となる拡大の予防対策措置のためであり、その目的の達成に必要な範囲内で使用します。  
なお、主催者側で1か月程度保管し、その後は破棄します。

(1) 以下の事項に該当する場合は、自主的にご参加を見合わせてください。

- ① 体調がよくない(例: 発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ② 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

該当しない・該当する

(2) 連絡先等

氏名 ( ) 年齢 ( ) 歳  
住所 ( )  
電話番号 ( )

(3) 本日の体温 ( ) °C

(4) 前2週間における以下の事項の有無(いずれかに○をしてください。)

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| ① 平熱を超える発熱(概ね37度5分以上) | 有・無 |
| ② 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状  | 有・無 |
| ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難) | 有・無 |
| ④ 臭覚や味覚の異常            | 有・無 |
| ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等      | 有・無 |

### 2 確認事項

- (1) マスクを着用すること(受付参加時や着替え時の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)
- (2) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (3) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること(障害者の誘導や介助を行う場合を除く。)
- (4) 大会開催中に大きな声で会話、応援等しないこと。
- (5) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (6) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やか濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (7) 大会関係者は行動履歴書を記載し、感染者発覚の際は濃厚接触者特定のために必要となる場合もあるため、大会終了後も1ヶ月程度保管しておくこと。
- (8) その他

(各競技の特性上注意することとして確認しておきたいことを記入する。)